

(3)富山県内の長方形箱形炉の型式分類について

県内における古代の長方形箱形炉はこれまで26基の調査報告例があり、滑川市の安田遺跡を除く25基がすべて射水丘陵に集中している（第42図 表10）。ここでは県内26例との県外2例合せて28例について長方形箱形炉の変遷を検討する。

製鉄炉の型式分類については全国的な視点から土佐雅彦氏〔土佐1981・1984〕や穴澤義功氏〔穴澤1984・1987〕が近世以前の精錬炉について分類を行い、北陸では関清氏が穴澤氏の分類をもとに県内例の位置づけを行っている〔関1984〕。穴澤分類に基づけば県内の長方形箱形炉はすべて木炭層による地下構造を持つⅠ型d類に属する。上記の安田遺跡製鉄炉のみ地下構造に木炭の代わりに川原石が敷き詰められるがⅠ型d類の範疇として捉える。

渡邊朋和氏は送風施設である鞆座の有無と斜面に対する炉の構築方向から分類を行い、「斜面に対して直交して構築され、炉床に厚い木炭の地下構造を持ち、炉の長軸方向一方から排滓するものをⅠA類とし、斜面に対して平行に構築されるものをⅠB類」とし、そのうちフイゴ座の明確なものを1、明らかでないものを2と細分を行った〔新津市教委1998〕。富山県内ではこれまでフイゴ座の明確な事例は見つかっておらず、現段階では総てⅠA2・ⅠB2類に属する。炉の構築方向による時期差は、排滓の効率面から「斜面に対して平行：横置き」→「斜面に対して直交：縦置き」に推移したと想定されていたが、石太郎Ⅰ遺跡1～3号製鉄炉の事例では同一箇所直交から平行への造り替えが見られ、平行＝古段階という認識を覆した。

今回試みた炉の分類（表9）では北陸の長方形箱形炉の特徴である「充実した地下構造」部分に着目し、掘り方面積・長軸短軸比率によってⅠ・Ⅱ・Ⅲの3つの時期に分けた。Ⅰ期は県内の製鉄開始段階にあたり8世紀前半に属する。Ⅱ期は長方形箱形炉の盛行期にあたり8世紀後半～9世紀第1四半期に属する。Ⅲ期は長方形箱形炉から半地下式竪形炉への移行期にあたり9世紀第2四半期に属する。

帰属年代は当該炉及び関連遺構からの伴出遺物・操業時期を同じくする炭窯の編年区分によった。

Ⅰ期 帰属年代は8世紀前半。長軸・短軸比率は3：1～2：1。構築方向は斜面に平行・直交の両方がある。完掘事例は少ないが石太郎G遺跡1号製鉄炉が該当する。

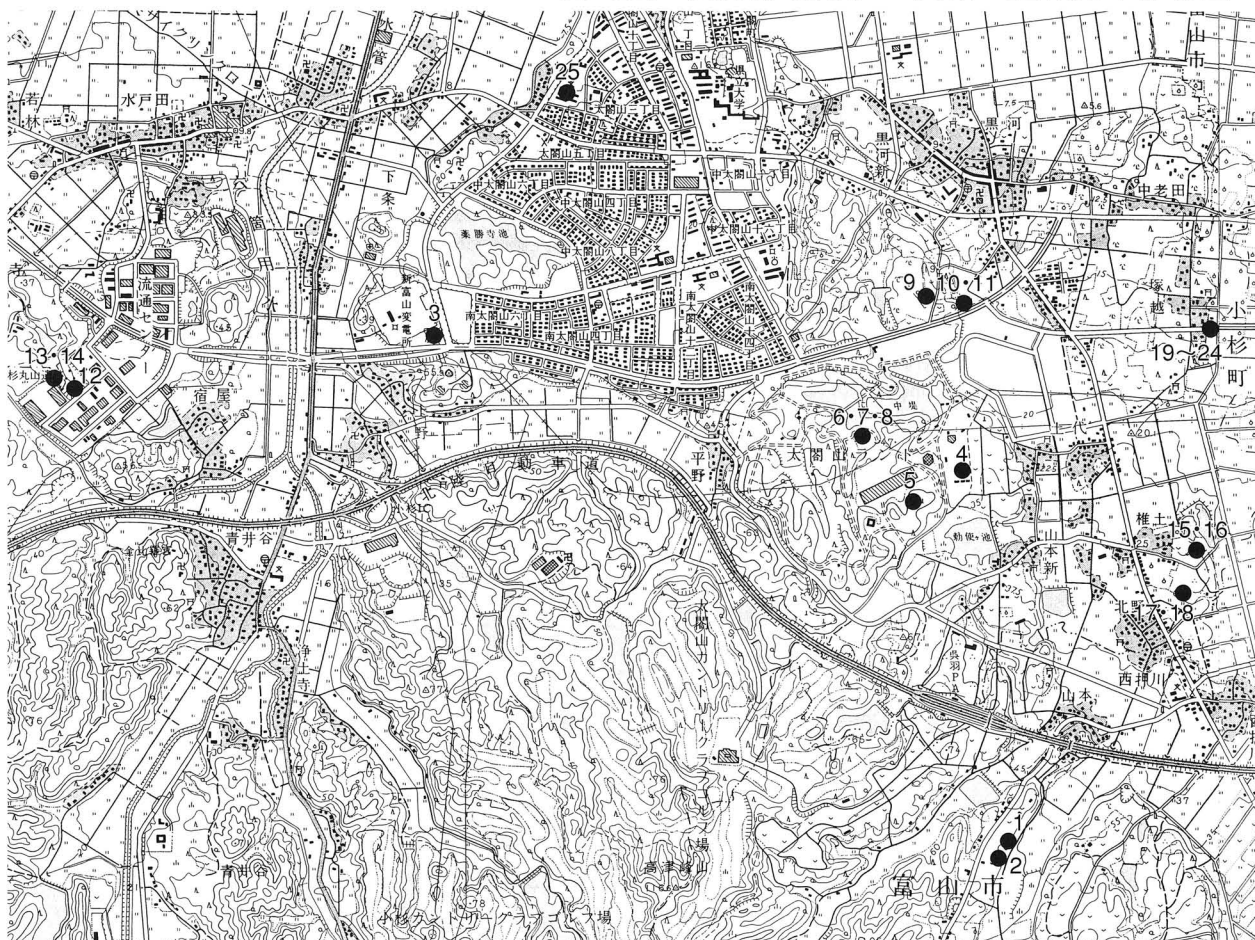
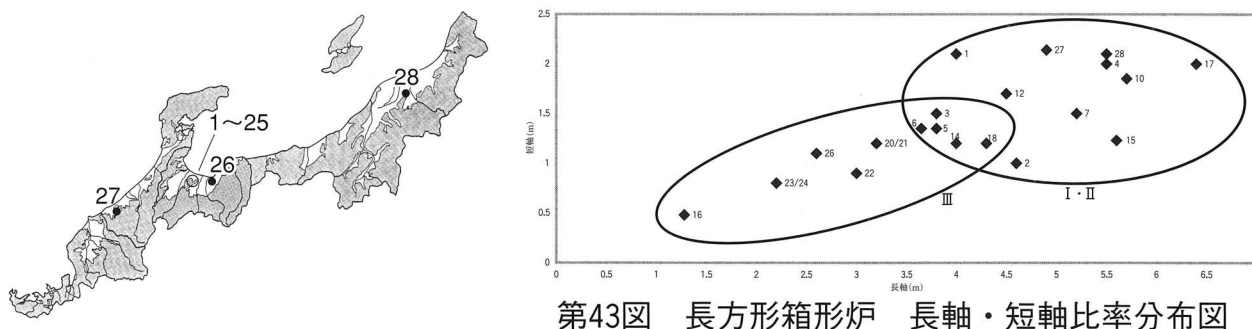
Ⅱ期 帰属年代は8世紀後半～9世紀第1四半期。長軸・短軸比率は3：1を主とするが、時代が下がると4：1とやや長軸が長いものも見られる。短軸（炉幅）は1～2mと広がり、平面形で5㎡を超える大きな地下構造となる。構築方向は斜面に平行・直交の両方がある。15基が該当し、長軸下方に排滓用ピットや周囲にコ字排水溝等施設が付帯するものもある。池多南遺跡2号炉、小杉丸山遺跡2期調査2号製鉄炉等が該当する。

Ⅲ期 帰属年代は9世紀第2四半期。長軸・短軸比率は3：1を主とし、4：1～5：1など細長いものも見られるが全体的に小規模化する。椎土遺跡A地区1・2号炉、塚越A遺跡2号炉などが該当する。

今回の分類では斜面平行構築の炉の帰属年代はほぼ8世紀代に限定される。炉本体である上部構造については炉壁・炉床が良好に残存するものが県内では6例のみで、更なる調査例の蓄積が必要であるため今回は検討対象としなかった。（近藤）

表9 富山県内長方形箱形炉編年

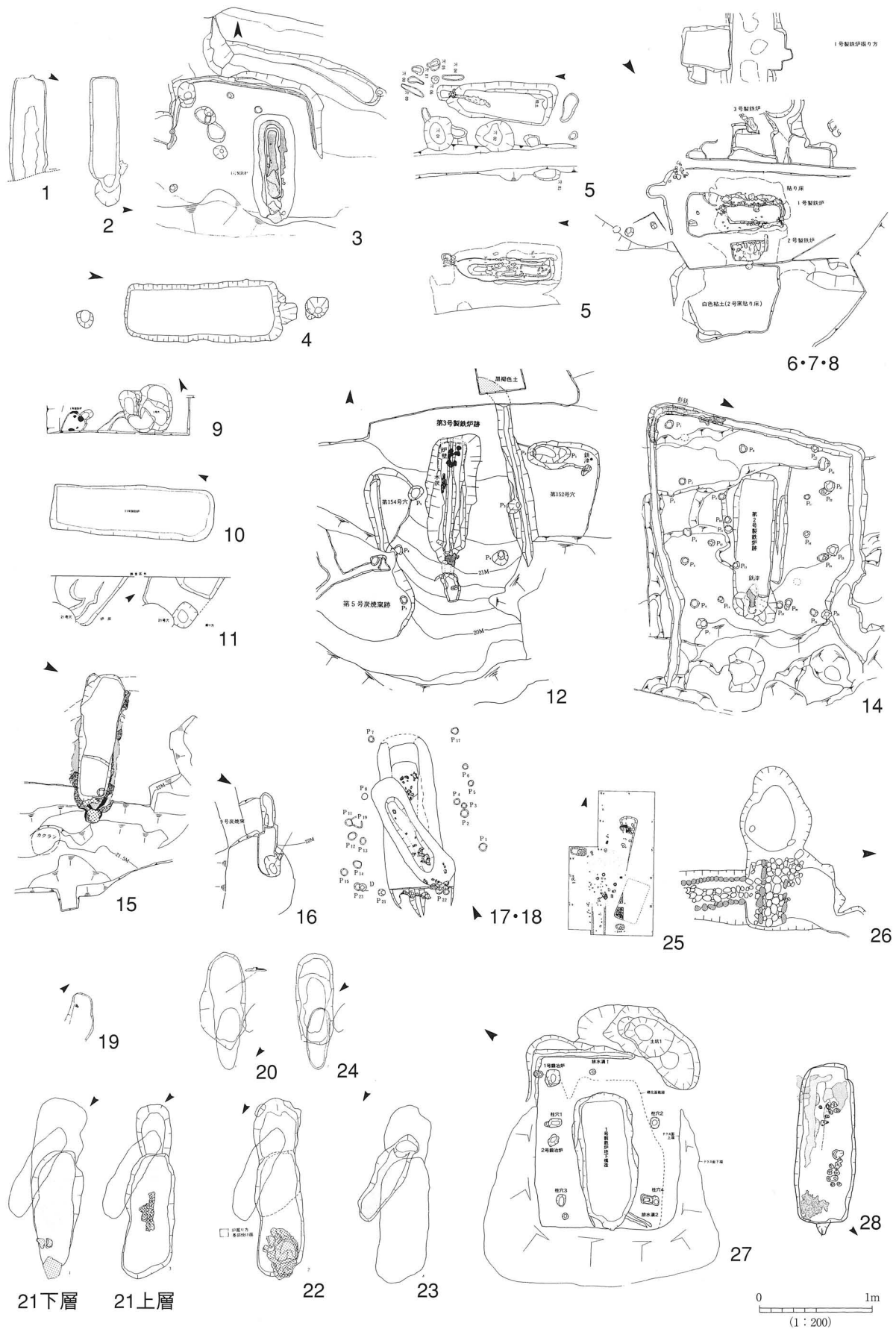
区分	分類	No.	遺跡名	遺構番号
8世紀	前半	Ⅰ	5 石太郎G	1号製鉄炉
			9 東山Ⅰ	製鉄炉
			25 囲山東	製鉄炉
			27 林 A地区	1号製鉄炉
	後半	Ⅱ	3 南太閤山Ⅱ	1号炉
			4 石太郎C	製鉄炉
			8 石太郎Ⅰ	3号炉
			10 東山Ⅱ	11号製鉄炉
			11 東山Ⅱ	12号製鉄炉
			1 池多南	1号炉
			7 石太郎Ⅰ	2号炉
			17 椎土 D地区	1号炉
			2 池多南	2号炉
			6 石太郎Ⅰ	1号炉
			26 安田	製鉄炉
			28 居村 E地点	1号精錬炉
	9世紀	前半	13 小杉丸山	2期第1号製鉄炉
			14 小杉丸山	2期第2号製鉄炉
			12 小杉丸山	1期第3号製鉄炉
		Ⅲ	18 椎土 D地区	2号炉
			22 塚越A	製鉄炉04
			23 塚越A	製鉄炉05
			24 塚越A	製鉄炉06
			15 椎土 A地区	1号炉
			16 椎土 A地区	2号炉
			19 塚越A	製鉄炉01
			20 塚越A	製鉄炉02
			21 塚越A	製鉄炉03



第42図 富山県内長方形箱形炉位置図 (1:40,000)

表10 富山県内長方形箱形炉一覽

No	遺跡名	遺構番号	型式	属属年代	炉床規模			掘方規模			焼土の種別	伴う炭炭		時期	付属施設	文献	備考
					長軸(残存長)(m)	短軸(残存長)(m)	面積(残存長)(m)	長軸(残存長)(m)	短軸(残存長)(m)	面積(残存長)(m)		番号	型式				
1	池多南	1号炉	1-d	8世紀後半	—	—	[4.00]	2.10	直交	1号窯	8世紀後半	Ⅱ	SK01	—	本書	掘乱を受ける	
2	池多南	2号炉	1-d	8世紀後半	3.40～3.70	0.60	4.60	1.00	直交	5号窯	IB類	Ⅱ	—	—	本書	排滓用ピットが付く	
3	南太閤山Ⅱ	1号炉	1-d	雄略中頃～推古朝前期	2.46	0.34	3.80	1.50	直交	1・2号窯	IA-1a/IB-1a	Ⅱ	周溝・穴	—	富山県1983a	考古地磁気AD620	
4	石太郎C	製鉄炉	1-d	8世紀代	—	0.50	5.50	2.00	平行	—	—	Ⅱ	長軸延長上にピット2	—	富山県1983b	考古地磁気AD980	
5	石太郎G	1号製鉄炉	1-d	8世紀前半	1.40～1.60	0.70	3.80	1.25～1.45	平行	4号窯	—	I	穴	—	富山県1991	排滓用ピットが付く	
6	石太郎I	1号炉	1-d	8世紀後半～終末	1.90	0.50	3.65	1.25～1.48	平行	—	—	Ⅱ	—	—	—	—	
7	石太郎J	2号炉	1-d	8世紀後半～終末	—	—	5.20	1.40～1.90	直交	—	—	Ⅱ	—	—	富山県1992a	3号炉→2号炉→1号炉	
8	石太郎I	3号炉	1-d	8世紀中～第3四半世紀	—	—	—	—	—	—	—	Ⅱ	—	—	—	—	
9	東山Ⅰ	製鉄炉	1-d	奈良時代	—	—	[1.70]	[1.50]	直交	—	—	I	—	—	富山県1983a	掘乱を受ける	
10	東山Ⅱ	11号製鉄炉	1-d	8世紀中～後半	—	—	5.70	1.85	平行	—	—	Ⅱ	—	—	富山県1995	掘乱を受ける	
11	東山Ⅱ	12号製鉄炉	1-d	8世紀中～後半	—	0.50	(2.40)	2.10	平行	6号窯	—	Ⅱ	—	—	—	掘乱を受ける	
12	小杉丸山	1期第3号製鉄炉	1-d	9世紀前半	—	—	4.50	1.70	直交	6号窯?	IB-2b	Ⅱ	周溝・柱穴(上屋構造)	—	—	—	
13	小杉丸山	2期第1号製鉄炉	1-d	奈良～平安	—	—	—	—	直交	—	—	Ⅱ	—	—	富山県1986	上層と下層の築面あり	
14	小杉丸山	2期第2号製鉄炉	1-d	9世紀前半	3.15	0.45	4.00	1.20	直交	2号窯	IB-3a	Ⅱ	周溝・柱穴(上屋構造)	—	—	—	
15	樺土 A地区	1号炉	1-d	雄略前期～推古朝前期	—	0.35～0.40	5.60	1.23	直交	2・3・4・5・6号窯?	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	—	
16	樺土 A地区	2号炉	1-d	雄略前期～推古朝前期	—	0.17強	1.28	0.48	直交	1・13号窯?	IB-3a	Ⅲ	排滓穴	—	小杉町1988	1号炉より新	
17	樺土 D地区	1号炉	1-d	8世紀後半	—	—	6.40	2.00	直交	4号窯	—	Ⅱ	—	—	—	4窯	
18	樺土 D地区	2号炉	1-d	9世紀前半	3.00	0.60	4.30	1.20	直交	5号窯	—	Ⅲ	柱穴(上屋構造)	—	小杉町1987	5窯	
19	塚越A	製鉄炉01	1-d	雄略前期～推古朝前期	—	—	(1.50)	0.80	直交	—	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	単独	
20	塚越A	製鉄炉02	1-d	雄略前期～推古朝前期	—	—	3.20	1.20	直交	3～6号窯	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	—	
21	塚越A	製鉄炉03	1-d	雄略前期～推古朝前期	—	—	3.20	1.20	直交	3～6号窯	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	—	
22	塚越A	製鉄炉04	1-d	9世紀前半	—	—	3.00	0.90	直交	—	IB-3a	Ⅲ	—	—	富山県1992c	05→06→03下→04→03上→02	
23	塚越A	製鉄炉05	1-d	9世紀前半	—	—	2.20	0.80	直交	—	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	—	
24	塚越A	製鉄炉06	1-d	9世紀前半	—	—	2.20	0.80	直交	—	IB-3a	Ⅲ	—	—	—	—	
25	間山東	製鉄炉	1-d	8世紀前半	—	—	1.47	0.85	直交	—	—	I	—	—	紙谷・藤田1981	掘乱を受ける	
26	安田	製鉄炉	1-d	8世紀代	—	—	2.60	1.10	直交	—	—	Ⅱ	周溝?	—	滑川市1982	下部施設は川原石敷	
27	林 A地区	1号製鉄炉	1-d	8世紀第2四半期～中頃	2.00	1.00	4.90	2.14	直交	1窯	—	I	世穴(上層施設)雄略中～推古朝前期・周溝・排水溝	—	小松市2003	精練炉と伴う作業場	
28	居村 江地点	1号精練炉	1-d	奈良～平安	2.4～4.0	0.3	5.50	2.10	直交	2,3,4窯	—	Ⅱ	排滓場	—	新津市1997	考古地磁気AD580～	



第44図 長方形箱形炉集成 (表10と対応)